

21 世紀 COE
「京都大学化学連携研究教育拠点」
化学研究所・固体化学セミナー

講師：**Prof. Kenneth R. Poeppelmeier**
(Northwestern University, U.S.A.)

演題：**Metal Oxide Surfaces:**
"God made the solid state. He left the surface to
the devil... Wolfgang Pauli "

日時：平成 17 年 3 月 16 日（水）15：00～

場所：化学研究所 新 4 F セミナー室

Kenneth R. Poeppelmeier 博士は Inorganic Chemistry 誌のエディターを務める著名な固体化学者であり、その研究対象は遷移金属酸化物から錯体まで多岐にわたる。酸化物表面の科学は固体化学のフロンティアである。しかしながら酸化物表面における原子配置について実はあまり知られておらず、それを決める要因についても様々な説がある。ここでは SrTiO_3 やヘマタイト ($\alpha\text{-Fe}_2\text{O}_3$) の研究例を紹介する。

○ 世話人： 化学研究所 附属元素科学国際研究センター
無機先端機能化学研究領域 高野幹夫（内 3120）